

目標達成計画

作成日：平成 22年 7月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	前年度までの運営推進会議では、家族代表の参加がなく、また事前準備が不十分におわっていた。	運営推進会議の内容充実、地域、家族、ホーム、行政の一体となった運営推進会議の開催	家族代表の選出や、年間計画を作成し、前月に資料準備のための事前調査や情報収集などを行う。	4ヶ月
2	10	家族会への参加が少ない	家族会の参加を増やす	年間計画を作成し、家族会の内容や、介護サービス計画の検討時期などを事前に連絡できるようにする。	4ヶ月
3	23	思いや意向の把握が不十分	利用者おひとり、おひとりの思いや、意向の把握をさらにすすめる	ご家族宅の訪問などで、利用者様の以前の様子や、居住環境などを把握し、ホームでのサービス計画、部屋の環境整備、全職員の接遇の改善につとめる。	6ヶ月
4	13	研修に参加する職員が少なかった。	研修に参加する職員を増やし、グループホームでの介護の質の向上をめざす。	同業者との交流の機会を利用して、事例研究、認知症研修、高齢者向け調理実習、レク活動などの研修をうけ、研修報告の時間ももうけ、質の向上をめざす。	9ヶ月
5	26	介護計画のモニタリングの記録が不十分	関係職員などの意見をもとに介護計画を作成しているが、その記録が十分にできていない。	介護計画の検討会の内容を、所定の用紙に整理して記録していく。	1ヶ月
6	52	浴室などに段差があり、入居者や職員の介助の負担になっている。	段差の解消か、他の適切な方法を検討する。	リフトなどを想定し、負担軽減や解消につながるか専門業者を入れて検討していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。